

# 一房のぶどう



第6号

平成 18 年 3 月 1 日

編集・発行 / あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮 350 ☎042(558)1111 (代)

## 家庭への3つの呼びかけ

### 子どもを家事に参加させよう

子どもが家事に興味を示したら、家庭教育の絶好のチャンス！温かい気持ちで教えてあげましょう。

### 会話する力をつけよう

子どもの問いかけや話しかけに、親は興味を示してあげましょう。会話する意欲と力が高まります。

### テレビの見方に注意しよう

テレビの長時間の視聴は、子どもが体験する大切な活動時間を奪ってしまいます。



### 平成18年成人式

約900人の新成人が、大人の仲間入りをしました。(リトルエコーズが歌で祝福)

### 子ども安全対策 連絡会開催

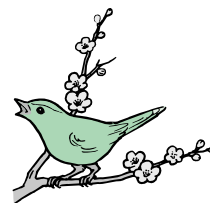
「子どもを一人にしない環境づくりのために」をテーマに、こども安全緊急アピールをした。(3ページに関連記事)



### 先生達も

### 頑張っています！

授業改善の取組に、東京都教育委員会から表彰され、全生徒の前で報告する丹治校長(秋多中)(6ページに関連記事)



平成18年度・あきる野市教育推進スローガン

# 人が育ち 人が輝く あきる野の教育

# 平成18年度あきる野市教育委員会の教育目標

平成18年度の教育目標を達成するためには、家庭、学校、地域社会、行政が緊密に連携し、共通の課題意識をもち、それぞれの責任を自覚し役割を担っていくことが必要です。

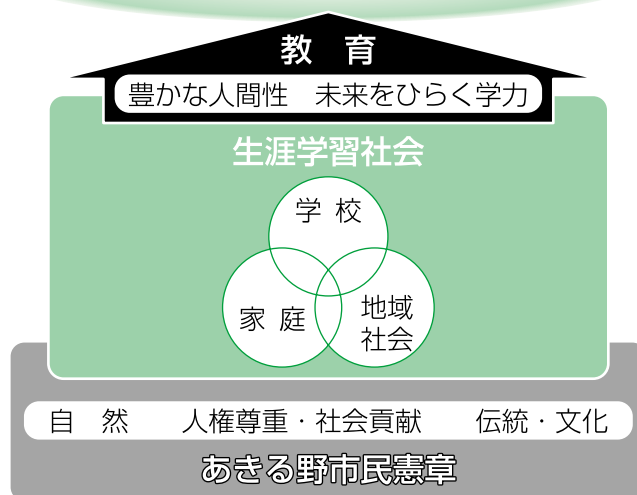
また、子どもたちを取り巻く治安の悪化に対する取組は大きな課題であり、四者の連携が不可欠です。教育委員会では、この四者の連携のさらなる強化を図りながら、平成18年度の教育目標及び基本方針に基づき重点施策を推進します。

## 教育目標

あきる野市教育委員会は、人権尊重と社会貢献の精神を基調とし、あきる野市民憲章に則してすべての市民が豊かな自然や文化・伝統に誇りをもち、生涯を通じて学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図る。その中で、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し緊密な連携のもとに、子どもたちが心身ともに健康で、豊かな人間性と未来をひらく学力を兼ね備えた市民として成長し、「人と緑の新創造都市」あきる野市の発展に貢献することを期して、教育を推進する。

平成18年度あきる野市教育委員会教育目標（図）

## 人と緑の新創造都市・あきる野市



## 基本方針

### 1 人権尊重と社会貢献の精神をはぐくむ教育の推進

すべての市民が、自他の人権について理解を深め、責任を自覚し、協力し合い、安心して社会生活を送れるよう、人権尊重と社会貢献の精神を育成する教育を推進する。

### 2 豊かな人間性と未来をひらく学力をはぐくむ教育の推進

子どもたちが、国際社会に生き社会の変化に主体的に対応していくために、基礎的な学力の向上を図り、個性と創造性を伸ばす教育を推進する。

### 3 生涯学習の推進と文化、スポーツ・レクリエーションの振興

すべての市民が生涯を通じて自ら学び、文化やスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、社会参加の機会の充実を図る。

### 4 家庭、学校、地域社会の連携・協力の強化

子どもたちが、乳幼児期から、豊かな体験を通して健やかに成長できるよう、家庭教育や地域活動を支援するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となった「安心・安全な教育環境づくり」を推進する。

# 子どもを一人にしない 環境づくりのために

—子ども安全対策連絡会を緊急開催！—

教育委員会では、平成17年12月19日、午後7時から秋川ふれあいホールで、子どもの安全を守るための緊急連絡会を開催しました。子どもが巻き込まれた大変痛ましい事件が各地で続くと、関係者約240人が集い、いかに子どもの安全を確保していくか話し合いました。学校や青少年健全育成地区委員会の取組の紹介、警察署からの情報提供の後に、教育委員会から、学校を中心に「学校安全ボランティア」を組織していただくお願いをしました。

市内でも登・下校中あるいは休日の街中で、不審者に声をかけられたり不快な思いをさせられたりする等、いつ事件に発展してもおかしくない状況も見受けられます。「私たちの学校や地域では事件は起こらない」などと樂觀せず、「事件はいつ、どこでも起こりうる」という危機感を持つことが必要です。その上で、「情報の共有や行動の連携」をキーワードにして、様々な対策を意図的に講じていかなければ学校をはじめとする子どもの安全は確保できません。「安全・安心な学校づくり」、「安全・安心な子どもの居場所づくり」は地域ぐるみの取組なしにはありえません。保護者、学校評議員等学校関係者、地域の方々、警察・消防・



真剣に聞き入る関係者のみなさん

町内会・自治会・防犯協会等の関係機関・団体の方々には、学校や子どもの安全をめぐる危機的な状況をまず理解していただき、その上で次代を担う子どもの安全を守るための取組に積極的なご協力をお願いします。

## 安全への具体的取組

現在、学校や地域など各方面で、子どもの安全を確保するための具体的な取組を行なったり、計画をしています。次の事例はその一部ですが、今後はさらに関係者の連携を強化し、効果的で永続的な活動にしていく必要が求められています。犯罪の抑止には、多くの人の「目」が最も効果的です。わたしたち市民一人ひとりが自覚し、安全で安心して住めるまちづくりを心がけましょう。



セーフティー教室実施風景

- ① 学校と地域の取組
  - 「学校安全ボランティア」の組織化
  - 「がくどうひなんじょ」の周知・徹底
  - 地域安全マップ作成・活用
- ② 学校の取組
  - 教職員・保護者の危機管理意識向上のための取組
  - セーフティー教室の充実
- ③ 東京都や警視庁の取組
  - 防犯ステッカーの活用
  - パトロールの強化
  - 警視庁メールマガジン
- ④ 市の取組
  - 防災行政無線による見守り協力のお願
  - 庁用車への防犯ステッカー貼付
- ⑤ 教育委員会の取組
  - 職員による安全パトロール
  - 自転車の防犯パトロールパネル配布
- ⑥ その他
  - 登・下校時の見守りや散歩死角を作らないための雑木の剪定や伐採



日ごろからチェックしよう。「がくどうひなんじょ」



# 「家庭の日」 推進事業

## 作文(低学年の部)

「夜のたんけん」

小宮小学校2年

木住野 凱太

夜、お父さんと弟の剛月とぼくで、歩いてカブト虫をとりに行きました。

川の音がいつもより大きく聞こえました。

お地ぞうさんの前はまっくらで、お父さんに剛月と二人でくっついていました。

少し歩いて行くとお父さんが、

「星がきれいじゃん。」

と言いました。でも、ぼくが見たら見えませんでした。

「手でがいとうをかくしながら見てみる。」

とお父さんが教えてくれたので、手でかくしながらもういちど空を見ました。星がたくさん

市では家族のコミュニケーションを密にし、親子の絆を深めるとともに明るい家庭づくりを努めていたきたいという願いを込めて、毎月第二日曜日を「家庭の日」として設定しています。今年度は、「親子観劇会」(絵画(ポスター)・作文コンクール)を推進事業として実施しました。親子観劇会には千二百十六人が参加し、絵画・作文コンクールには幼児から中学生まで合計六百九十六人の応募がありました。

この中から絵画(ポスター)・作文コンクールの最優秀作品をご紹介します。

見えました。

また少し歩いて行くと、見たことのないような大きなカタツムリが、道るを歩いていました。車にひかれられないように、きゆうじよしました。

なかなかカブト虫が見つからないので、上よぎわからかみやまで歩いてしまいました。

ゴムぞうりをはいていた剛月は、足がすりむけてしまいました。お父さんが、おぶつて帰りました。

カブト虫もいなくてつかれて歩いていたら、とつぜん剛月が、うたをうたい出しました。

それが、「しょうじょう寺」のうたになりました。ぼくと剛月は、

「ぼんぼりんの、ぼんぼん。」

「ぼんぼりんの、ぼんぼん。」

と、うたっていました。三人でうたいながら歩いていたら、元

気になりました。

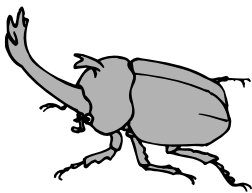
とちゆうで、さわがにをひろいました。虫かごが空っぽだったので、かにを入れておきました。

お母さんが心ばいして、車でむかえにきました。少しおこられました。でも、虫かごのかにを見せたら大わらいしていました。

かには、いえのさわににがしました。

夜のたんけんは、つかれたけど楽しかったです。

ど楽しかったです。



## 絵画(幼児の部)

秋川文化幼稚園 3才

「たのしかった  
えのもと かなな  
小和田の花火」



## ポスター(中学生の部)

西中学校 3年 和泉 徳子



## 五日市小学校の 研究発表会

平成18年1月25日、五日市小学校で平成16・17年度教育委員会研究推進校としての研究発表会が行われました。「自ら学ぶ意欲を育てる指導の工夫 算数科少人数指導を通して」を研究テーマとし、3年生から4年生で7つの学習集団の授業が公開され、その後、体育館において研究発表及び講演が行われました。講演の講師は、東京都理科大学助教授の清水克彦先生で、「確かな学力を育てる算数科少人数指導の工夫」という演題で、五日市小学校の研究実践と結びつけたお話をいただきました。研究発表会への参加者は260人で体育館は熱気に包まれました。



少人数教育の授業公開

# 中学生の 主張大会

「第2回子どもからの人権  
メッセージ・第10回中学生の主  
張大会・青少年善行表彰」にお  
いて、市内在住・在籍の中学生  
が「学校・家庭・地域や友人等  
とのかわりの中で、日ごろ考  
えていること」をテーマとした  
作品を応募者千四百六十六人の中  
から選ばれた十五人が発表しま  
した。  
この中から最優秀を受賞した  
作品をご紹介します。

## 「目標をもつこと」

秋多中学校三年

瀧島 美央

皆さんは何かをしようとする  
とき、はつきりとした目標を  
もっていますか。目標をもって  
いると、自分が今何をするべき  
なのかが明確になり、意欲も増  
し、前向きに進むことができま  
す。

『ウサギとカメ』というイ

ソップ童話は皆さんもよく知っ  
ていると思います。ウサギとカ  
メが徒競走をし、途中で居眠り  
をしたウサギが足の遅いカメに  
負けてしまうという、あの話で  
す。

私は小学生の頃、ある人から  
こんな質問を受けました。  
「どうしてカメはウサギに勝て  
たのでしょうか。」

周りにいた友だちは「ウサギ  
が居眠りをしたから。」とか「ウ  
サギが油断したから。」という  
意見がほとんどでした。ところが  
その人は「そうじゃないんだ  
よ。カメが頑張ったから勝った  
んだ。」

と言ったのです。

私はなるほどと思いました。  
きつとカメは初めからウサギに  
勝とうなんて、思っていなかつ  
たに違いありません。ただ  
「ゴールする」ことを目標にし  
て、ひたすら走り抜いたから勝  
てたのだと思います。

私は中学に入ってから三年間  
吹奏楽部で打楽器を担当してい  
ます。今年の夏は中学で最後の  
コンクールがありました。今年  
は去年より一つ上のクラスで出  
場することになり、私たちは  
「団結して自分たちらしく楽し  
い演奏をしよう」という目標を  
決めました。練習の途中には、  
意見が合わなかったり、仲  
間割れをしたり、後輩にそっぽ

を向かれたりと、苦しいことが  
たくさんありました。悩んだり  
行き詰まったりする度に、私た  
ちはとにかく「楽しい演奏を」  
という目標を思い出して頑張り  
ました。そして最後には皆の気  
持が一つになり、コンクール  
当日は私たちとして最高の演奏  
をすることができました。し  
かもあまり意識していなかつた  
賞まで受賞することができまし  
た。金賞は結果としてついてき  
たものですが、目標をもってや  
り抜いたからこそ手にできたの  
だと思えます。

こうして私たちはいつになく  
素晴らしい演奏ができ、互いに  
成長することができました。  
そして今、私は受験勉強の  
真っ只中です。受験勉強は苦手  
なこと避けられないし、一人

でやらなければならないし、つ  
まづくことも多くて本当に大変  
です。でも私には前から憧れて  
いて、ずっと目指している高校  
があります。だから勉強が嫌に  
なったときはその高校を思い出  
すようにして、また頑張ろうと  
決意します。

実は小学生の時にその学校  
に行きたくて中学受験をしたの  
ですが、残念ながら不合格でし  
た。しかし、この受験は決して  
無駄ではありませんでした。自  
分から勉強をする習慣や、真剣  
に取り組む姿勢も身につけまし  
た。そして、何よりも、目標に  
向かって挑戦し、努力した分だ  
け自分が成長できるということ  
を、学ぶことができました。

人は目標があれば、頑張れま  
す。目標は自分自身を強くしま  
す。また、それを達成する過程  
での成長があり、達成した喜び  
と感動があります。失敗した  
ら、また新しい目標に向かって  
進めばいいのです。一つ一つの  
目標に挑戦し続ける中で、人間  
として大きくなっていくので  
す。

だから、人生に目標をもって  
生きるということとは、とても大  
切で素晴らしいことだと思いま  
す。私はこれからもしっかりと  
した目標を持って、夢に向かっ  
て努力しながら生きていきたい  
です。

1月26日に、秋多中学校は、  
平成17年度の教育活動の取組が  
評価され、東京都教育委員会か  
ら団体表彰されました。

「基礎的・基本的な学力の定  
着を図り、個性を伸長する指導  
方法を、指導体制等の工夫・改  
善」をテーマに定め、全校が組  
織的に授業改善に取り組みまし  
た。主な取組として、教師の指  
導力を高めるために、授業を公  
開し保護者等の評価を受けた  
り、教師同士が学び合い、鍛え  
合うために研究授業を活発に実  
施しました。この取組が大きな  
成果をあげたことが評価された  
ものです。



を向かれたりと、苦しいことが  
たくさんありました。悩んだり  
行き詰まったりする度に、私た  
ちはとにかく「楽しい演奏を」  
という目標を思い出して頑張り  
ました。そして最後には皆の気  
持が一つになり、コンクール  
当日は私たちとして最高の演奏  
をすることができました。し  
かもあまり意識していなかつた  
賞まで受賞することができまし  
た。金賞は結果としてついてき  
たものですが、目標をもってや  
り抜いたからこそ手にできたの  
だと思えます。

## 「授業改善」の教育活 動が都教委から表彰 秋多中学校

1月26日に、秋多中学校は、  
平成17年度の教育活動の取組が  
評価され、東京都教育委員会か  
ら団体表彰されました。

「基礎的・基本的な学力の定  
着を図り、個性を伸長する指導  
方法を、指導体制等の工夫・改  
善」をテーマに定め、全校が組  
織的に授業改善に取り組みまし  
た。主な取組として、教師の指  
導力を高めるために、授業を公  
開し保護者等の評価を受けた  
り、教師同士が学び合い、鍛え  
合うために研究授業を活発に実  
施しました。この取組が大きな  
成果をあげたことが評価された  
ものです。



# 特別支援教育推進情報 -その5-

## 特別支援教育体制・副籍モデル事業中間報告会開催

### 取組の内容と報告者

校内委員会とコーディネーターを中心とした各校での推進	前田小学校コーディネーター 田中養護教諭
巡回相談と校内支援体制の充実	特別支援教育担当 千葉 巡回相談員 橋本
養護学校等との副籍交流の実施	多西小学校(地域指定校) 宮崎・古藤・松本教諭 あきる野学園養護学校 田畑教諭
幼稚園・保育園等と小学校の連携 - 就学支援シートの活用 -	西秋留小学校 安西副校長 江波戸教諭

平成17年11月18日、秋川ふれあいセンターホールで、本市における特別支援教育の取組を報告する会を開催しました。東京都のモデル地域指定2年目の取組として、整備を進めている特別支援体制について、学校や幼稚園・保育園、関係機関の各取組、連携の様子を教員等が報告しました。当日は、市民をはじめ、教員や幼稚園・保育園等の関係者、行政関係者等、200人を越える参加がありました。報告の内容と報告者は次のとおりです。

### 校内委員会とコーディネーターを中心とした各校での推進

昨年年度から全校に校内委員会を設置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な子どもへの支援体制の整備等を進めています。各校のコーディネーターは、校内委員会をリードし、支援が必要な子どもへの把握や巡回相談、副籍交流等の連絡調整を担っています。前田小学校のコーディネーターから、校内委員会の運営や支援体制作りの工夫についての実践報告がありました。

### 巡回相談と校内支援体制の充実

巡回相談員が、平成17年12月までに学校を訪問した回数は61回となりました。学校からの要請に沿って児童・生徒の様子を見てその状況や支援について助言しています。学校全体での研修会や校内委員会で理解啓発を図るとともに、必要に応じて指導補助員の配置を検討するなど、学校との連携を一層強めながら支援体制の充実に力を尽くしています。

### 養護学校等との副籍交流の実施

市内在住で都立ろう学校及び

養護学校に在籍する児童・生徒23人が、居住地の小中学校に「副籍」を置き、交流活動を進めています。学校便りや学級便り等の情報交流とともに、児童・生徒や地域指定校の実態に合わせ、授業や行事等での交流活動を工夫しています。多西小学校からは、「あせらず、あわてず、ゆつくりと」をキーワードとして、あきる野学園や保護者と相談しながら交流活動を進めている様子が具体的に報告されました。



副籍交流（居住地の小中学校で活動する様子）

### 幼稚園・保育園等と小学校の連携 就学支援シートの活用

園での子ども様子や支援の様子を、小学校の入学期に引き継ぐことを目的とした「就学支援シート」を作成しました。現在、市内の幼稚園・保育園等に在園する、平成18年度就学児の全家庭に「就学支援シート」についてのご案内をしています。園と家庭が相談しながら作成しその内容を小学校の指導・支援に生かしていくこうとする取組です。

てくてくあきる野  
むかし発見！

第三話  
「盛りだくさん文化財の旅  
―歩きでなくちゃだめだんべー―」  
五日市から星竹へ

それではみなさん出発する前に次のものを用意してください。



リュックサック、中には水筒(麦茶かお茶がいい)、おにぎり(買ったものではなく自分で作ると格別です。具は梅がいい?)、タオル、ティッシュ、敷物、お菓子は適宜自由(ちなみに私は飴とせんべい)、カメラ(心のカメラで撮ってもよし)、絵心のある人はスケッチブックと鉛筆、小銭、靴ははきなれたもの。忘れてならないのが地図です。おすすめは「文化財マップ」(五日市郷土館で200円で販売中)です。

では、そろそろ出発しますか。歩く速さはマイペースでのんびりで行きましょう。時には立ち止まって周囲をゆっくり見わたしましょう。

今回の出発地点は、JR五日市線の武蔵五日市駅です。駅を出て右へ、ゆるやかな上り坂の檜原街道をてくてく歩いて行く

残した町並があります。このあたりを散策するのも楽しいものです。ここを抜けると前方に城山がどっしりと坐っている姿が目に入ります。この山は中世の山城、戸倉城が築かれていた跡(都史跡)です。これを前方に



見ながらしばらく行くと五日市警察署の大きな建物が見えてきます。ここを過ぎて右に曲がると五日市郷土館(休館日は要確認 TEL596・4069)にたどり着きます。ここでひと

まず小休止がてら旧市倉家住宅(市指定有形文化財)の萱葺き屋根の民家に入り囲炉裏端でお茶を飲んだり、蓄音機でレコードを聴いたりするのも楽しいものです。

また、郷土館の中に入って市の歴史について見学するのもおもしろいです。そうそう2階の展示室には、縄文時代の耳飾り

(市指定有形文化財)など興味深い資料がたくさんあるのでお見逃しなく。

館を出て右へ行くと小さな公園があります。ここを左へ折れて道なりにひたすら西に歩いて行きます。途中右手に大鳥神社さらに進むと石仏が数体の道端にたずんでいます。これらの文化財を改めてゆっくり見るのも楽しいですよ。さらに道なりにてくてく行くと左手に、先ほど檜原街道で見た城山

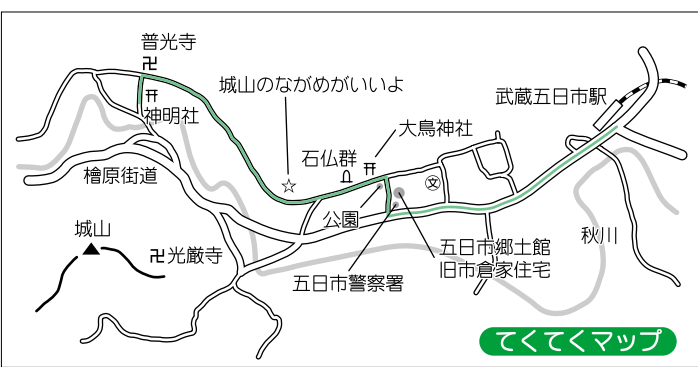


がま近に見える絶景のポイントがあります。これからの季節、新緑とともに自然という名の絵の具が、この山のキャンパスに美しい絵を描いてくれます。城山中腹にある光厳寺のヤマザクラ(都指定天然記念物)もその絵に一役かいます。このあたりから風の音と時折聞こえる川のせせらぎの音、森の中からは小

鳥たちのさえずりが耳を楽しませてくれます。何とも贅沢な空間が広がり、のんびりとした気分にはさせてくれます。

さらにてくてく道なりに歩いて行くと普光寺というお寺があります。ここを過ぎて左に折れて急な下り坂を下りて行くと左手に神明社があります。この神社の春祭りには、星竹囃子(市指定無形民俗文化財)の笛や太鼓の音が山間の春を呼び起こすかのように響き渡ります。

いよいよ春本番となります。みなさんもてくてく出かけてみませんか。その際は、やっぱり「歩きでなくちゃだめだんべー」



がんばれ！森井大輝さん！  
トリノパラリンピックに出場

市内在住の森井大輝さん(25歳)は、3月10日からイタリア・トリノで開催されるパラリンピックのアルペンスキー競技(チェアスキー)の日本代表として出場します。

森井さんは、高校2年生のときに事故で両足の自由を失いましたが、リハビリ中の長野パラリンピックをきっかけに、チェアスキー競技を始めました。子供の頃からスキーに親しみ、高校でもスキー部に所属していたこともあり、競技を始めてわずか3年で、前回のソルトレイクシティパラリンピックに出場、その後もワールドカップや世界選手権に出場し好成績を収め、世界のトップ選手として活躍しています。先日、日本(長野県志賀高原)で初めて開催されたワールドカップに出場、大回転では3位、回転では4位と好成績を収め、トリノでのメダルに大きな期待が寄せられています。市民の皆さんのご声援をお願いします。

